

「アトピー性皮膚炎治療におけるステロイド外用薬およびタクロリムス軟膏の使用実態調」調査概要

1.調査名：

「アトピー性皮膚炎治療におけるステロイド外用薬およびタクロリムス軟膏の使用実態調査」

2.調査目的：

アトピー性皮膚炎の治療において、ステロイド外用薬およびタクロリムス軟膏の使用実態を把握するとともに、タクロリムス軟膏の添付文書記載の警告内容が臨床においてどのような影響を及ぼしているかを把握する。

3.調査組織：

1) 調査委員会組織

NPO 法人皮膚の健康研究機構からの委託により組織された調査委員会により実施

(1) 委員会名：「アトピー性皮膚炎に対するタクロリムス軟膏使用実態調査委員会」

(2) 委員会委員：

NTT 東日本関東病院 皮膚科 部長 五十嵐 敦之

自治医科大学 皮膚科学 教授 大槻 マミ太郎

東京慈恵会医科大学附属第三病院 小児科 診療部長 勝沼 俊雄

国立病院機構三重病院 院長 藤澤 隆夫

※五十音順

2) 調査主体：NPO 法人皮膚の健康研究機構（調査研究事業）

担当理事：川島真（東京女子医科大学皮膚科）、

宮地良樹（滋賀県立成人病センター）

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構

〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目8番9号 福田ビル2階

TEL:03-3256-2575 FAX:03-6745-7678

4.調査方法：

1) 対象：小児アトピー性皮膚炎診療に十分な経験を持つ医師

皮膚科医・小児科医（目標 200 名以上）

2)方法：インターネットシステムによるアンケート調査

※パソコン、スマートホン、携帯電話から実施可能

3)実施スケジュール：

アンケート実施期間 : 2016 年 11-2017 年 1 月

論文化及び投稿 : 2017 年 4 月投稿および関連学会等での公表を予定

6.倫理的配慮および COI:

1)無記名調査とし、統計的に処理し、回答者個人が特定されないように配慮される。

2)本調査にかかる費用はNPO 法人皮膚の健康研究機構の資金により実施される。

7.調査内容

- 1)診療・医師背景（所属学会、専門医、診療患者数）
- 2)アトピー性皮膚炎治療におけるステロイド外用薬・タクロリムス軟膏の使用状況
- 3)ステロイド外用薬・タクロリムス軟膏に関する患者への薬剤説明実施状況
- 4)タクロリムス軟膏の警告（発がんリスク）に関する「患者への説明の義務」に関する意見 等

・実際の Web アンケートは下記 URL から確認いただけます。

<https://s.cnz.jp/sv/st5t/FgSSc5Xx>

・スマートフォン・iPad 等からは QR コードでもご確認いただけます



8.本アンケート調査事務局及びお問い合わせ窓口

特定非営利活動法人皮膚の健康研究機構 事務局運営
合同会社 EBC&M (EBC&M LLC.)
〒108-0014 東京都港区芝 5-29-20 クロスオフィス三田 9F
TEL:03-6435-3833 FAX:03-6740-2117 (担当；大垣、金澤)
E-mail : info@npo-hifu.net

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構
事務局長 平松泰成
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1 丁目 8 番 9 号 福田ビル 2 階
TEL:03-3256-2575 FAX:03-6745-7678

以上

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構
〒101-0047
東京都千代田区内神田 1 丁目 8 番 9 号

福田ビル 2 階

